

科目名	近代文学特講Ⅱ	
担当者	嶋田 直哉 / SHIMADA, Naoya	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	舞台映像を実際に観ながら「演劇」について多角的に検証する。
	到達目標	「演劇」を楽しむのはもちろんのこと、劇作家の思考＝試行を理解する。
授業計画	(1) ガイダンス 「演劇」とは何か？ (2) 「パフォーマンス」と「演劇」 (3) ミュージカルの世界 その1 世界のミュージカル (4) ミュージカルの世界 その2 日本のミュージカル (5) ミュージカルの世界 その3 宝塚歌劇 (6) オペラの世界 その1 イタリア・オペラ (7) オペラの世界 その2 ドイツ・オペラ (8) オペラの世界 その3 その他のオペラ (9) プッチーニ「蝶々夫人」を考える その1 演出 (10) プッチーニ「蝶々夫人」を考える その2 翻訳 (11) プッチーニ「蝶々夫人」を考える その3 比喩 (12) 現代演劇を考える その1 野田秀樹の劇作方法 (13) 現代演劇を考える その2 現代演劇最前線 (14) 現代演劇を考える その3 三谷幸喜とコメディ (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	受講までに実際に演劇作品を劇場や公共ホール、あるいは映像で観ておくことが望ましい。
	事後学習	各授業終了時にコメントシートを記入し提出。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に使用しない。授業中に配布するプリントを用いる。 【参】扇田昭彦『日本の現代演劇』（岩波新書）ISBN-10: 4004303729	
成績評価方法と基準	<基準> 演劇に対する理解、関心が深められれば合格とする。 <方法> 学期末レポート60%、受講態度30%、コメントシート10% ただしそれぞれ合格点を満たしていること。	
備考		